

事務事業調書

平成26年度

事業No	460	課	土地改良課	係	農地整備係	起案者	岡田俊信
						決裁者	兒玉太郎
事務事業名	土地改良施設改良事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	5 活力にみちた環境づくり				予算科目(会計)		一般会計	
	1 農業				予算科目(款・項・目)		30-5-40	
	1 農業				総合計画以外の計画			
	1 生産基盤				関連する総合計画の施策			
	2 基盤整備の推進				性質区分		市の内部事務事業	
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成20年度	経過	6年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	農業者が				~になる	土地改良施設を使用できる。	
事務事業の内容	老朽化した農業用水路、排水路及び農道などの土地改良施設の機能を維持保全し、農業経営の安定化を図るため、補助金要綱に基づき、国県の交付を受けて施設改修工事等を実施します。							
改善・対策の履歴	県費補助事業は、県の財政状況により採択される事業が限られるため、地元からの要望により多く応えられるように平成24年度から国庫補助事業（農業基盤整備促進事業）に該当する事業は、国庫補助で対応しています。土地改良施設の修繕については、極力農地・水で対応するよう地元活動団体と調整します。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,182	43,094	59,520	49,238	44,220
財源計	922	38,054	57,000	46,718	41,700
財源の内訳	国庫支出金	0	11,971	16,500	17,000
	県支出金	369	420	15,500	9,300
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	553	25,663	25,000	20,418
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	5,040 (0.80)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	防火水槽・消化栓の整備	見込	1.00	0.00	1.00	2.00
			実績	1.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	防火水槽・消化栓の設置数(基)	活動の総事業費(千円)	2,182	0	1,406	
			活動にかかるコスト(千円)	2,182.00	0.00	1,406.00	
活動2	活動名 (活動内容)	農業用排水路の改修	見込	230.00	375.00	375.00	289.00
			実績	0.00	565.00	400.00	
	指標名 (単位)	排水路改修延長(m)	活動の総事業費(千円)	0	43,094	35,803	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	76.27	89.53	
活動3	活動名 (活動内容)	道路整備(用水路上部利用)	見込	0.00	0.00	250.00	250.00
			実績	0.00	0.00	128.00	
	指標名 (単位)	道路整備延長(m)	活動の総事業費(千円)	0	0	12,029	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	94.35	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	要望整備箇所数／市要望件数(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	50.00	100.00	100.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			
				達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	・農業者が利用できる土地改良施設が増加し、さらに農村集落の生活者が被災時にも消火活動がスムーズに行われるという安心感が増しました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・あいくる材、リサイクル材料を積極的に採用し、環境に配慮するとともにコスト縮減を図りました。
成果	・補助金額は限りがあるため、県費補助事業、国庫補助事業・農地水保全管理支払交付金事業に効率よく振り分けることで、地元からの多くの要望に応え、また施設の改修を推進することを目指しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
排水路は特注品ではなく汎用品を使用し、コスト縮減を図ります。 地元要望は、緊急性のあるものは迅速対処するとともに、内容を精査し、補助制度を活用できるもの、農地・水保全管理支払交付金事業(H26より多面的機能支払交付金)で対応できるもの等、よく判断して実施します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	農業の生産基盤を維持するため、農業用施設の改良、維持修繕を行う必要があります。地元要望の内容が円滑に達成できるように、常に愛知県西三河農林水産事務所と情報交換、調整を行います。